

ご厚志をありがとうございました

堀口幸男 様
三輪博 様
矢木田千代子 様
代吉和 様
橋本秀光 様
小坪 草水 様
長島徳治 様
鎌田幸江 様
㈱カイゴテック 様

吉川文司 様
神庭 光雄 様
早乙女トミエ 様
増野 和明 様
宮田敬一郎 様
大澤充 様
橋本京子 様
坂田ゆわ 様
浦和大学 様

島田まち子 様
長澤和子 様
山田ゆかり 様
中野恵子 様
川島雅行 様
近藤佳代子 様
岡田芙二夫 様
中村芳子 様
金森成子 様
東京家政大学 様

林毅一 様
星野隆一 様
木附久江 様
島田幸子 様
中澤真希 様
市岡純子 様
新井文子 様
太陽設計 様
ヤジメンテナンス 様
聖セシリア女子短期大学 様



3 月 3 0 日、通所部の外出でムーミンバレーパークへ行ってきました。

オープンしたばかりのまだ見ぬ施設に期待は高まり、移動の車中も会話が弾みます。

この時期としては肌寒い日でしたが「ムーミンに会えるかな」と足取りは軽く笑みも止まりません。

まずはパーク内を散策。物語に出てくる建物の数々に魅了され、昔観たアニメに思いを馳せます。

いよいよ広場の劇場ではショーの始まりです。待ちに待ったムーミンの登場に「ムーミン」と大きな声で手を振り、熱い声援を送る利用者さん。30分程のショーでしたが、瞬きも惜しい位、釘付けの視線を送る利用者さんを見ていると、計画して良かったと安堵と嬉しさがこみ上げます。

その後は体感展示場へ。ここではムーミンの世界観が立体的かつ映像との共演で、まるで物語の一部に入り込んだ様な不思議な体験をする事ができました。

昼食を済ませ広場を見ると、そこにはムーミンの仲間たちの姿が。「ムーミンママだ」「パパがい」等それぞれ思いを巡らせ、足早に仲間たちの元へ。間近で触れ合う事ができ笑顔と一緒に記念撮影も行いました。こうして一日、ムーミンの世界を堪能し、帰寮の途につきました。(今井)



— けやき寮 管理者 川上 大介 —

元号改定に伴う大型連休、オリンピック開催を見据えた国際標準化、働き方改革等、様々なニュースが溢れており、皆様方におかれましても気忙しいお過ごしのことと存じます。私としましては、これらのニュースが何やら縁遠く感じられ少し寂しく思ったりもします。身近なニュースとしては福祉施設に関する報道もありますが、福祉従事者として胸を張れるものより、事件、事故の報道の方が目につきます。残念ながら人が携わる以上、事故は起こります。この事故を未然に防ぐために「気付き・配慮」を忘れぬようにと日々努力しているのですが、事件（虐待）となればまた話は別です。25 年前、私が福祉業界に入った頃は施設に勤めていると言えば「大変な仕事だよ、凄いな」等と称賛に近い声が主流でしたし、仲間達もその声に背中を押され必要な支援を見い出しながら取り組んでいました。ですから欠員が出て直ぐに補充され人手不足とは無縁だったと思います。

バブル崩壊後、労働身分の非正規化が進み、個々

の職員の情熱（気付き・配慮）が主軸だった支援もマニュアル（平均化）というものになりつつあります。利用者との繋がりを契約と位置付け、行われる支援をサービス提供という言葉に置き換える。このような施設を取巻く環境の中で大きく変わったのが「施設で働く」ということ。支援の質というのは、利用者に対する関心なしには向上しないものだと思います。対象者の思いを想像し、必要と思われる支援を模索する。当然、技術や資格は大事ですが、心を寄せる・思いやるという気持ちが伴わない行為は、決して安心感や幸福感をもたらさないのではないのでしょうか。

最近では支援も国際化、ロボット化が話題となっていますが、利用者が持つ背景に配慮できるのかと心配にもなります。食事に例えるならレシピに従ってただ調理したメニューを提供するのではなく、安全に、美味しく食べてくれるだろうかと、心を寄せること。マニュアルには表せない心の積み重ねが事故防止に繋がって行くのだと思います。元号は「令和」へと変わりましたが、諸事情により私共の就労継続支援 B 型に大型連休は存在しません。これは一緒に汗を流す利用者さんも同じです。有給休暇さえない彼らと過ごす時間を大切にし、職員一人ひとりが利用者さんに興味を持ち、心を寄せ、その喜怒哀楽を共有できるような場所となるようこれからも努力して参りたいと思っております。

「始まり」 (ながい寮 主任 坂本 大介)

新しい年度が始まりました。私事ではありますが、息子が 4 月から小学校に入学し、今までの保育園と

社会福祉法人 むさしの郷 事業所一覧 <http://www.musasinogou.com>

むさしの郷

検索

□ 障がい者支援施設 ながい寮・法人本部 〒 360 - 0125 埼玉県熊谷市上恩田514-2
TEL 048-598-7007
【施設入所支援 生活介護 ショートステイ】 FAX 048-598-7008
Email honbu@musasinogou.com

□ 障がい者支援施設 むさしの青年寮 〒 355 - 0008 埼玉県東松山市大谷4730
TEL 0493-39-1895
【施設入所支援 生活介護 ショートステイ 日中一時支援】 FAX 0493-39-1380
Email seinen@musasinogou.com

□ 障がい福祉サービス事業所 けやき寮 〒 360 - 0211 埼玉県熊谷市善ヶ島3310-1
TEL 048-588-1358
【就労継続支援B型】 FAX 048-588-8830
Email keyaki@musasinogou.com

□ 共同生活援助事業 未来ホーム（グループホーム） 〒 360 - 0203 埼玉県熊谷市弥藤吾578-18
【東方ホーム、福嶋ホーム、コスモスホーム、未来ホーム、一路ホーム】

は、全く勝手の違う世界に入り、先生からは礼儀や勉強を教わり、知らない同い年の子供たちと机を並べ、日々刺激のある生活を送っています。

そして、私の新年度はと言いますと、まず頭を悩ますのが「行事」です。特に日帰り旅行の行き先を決めるのに苦労します。何故それ程頭を悩ますのかと言いますと、ながい寮の皆さんは高齢化し、出掛ける際にはあらゆる配慮が必要だからです。行き先は遠くないだろうか、途中のトイレや行った先はバリアフリーが整っているか、雨が降っても大丈夫か等々。また、どこに行くにしても頭にはまず、利用者さんを思い浮かべ「〇〇さん、喜ぶだろうな」、「〇〇さんに、こんなものを見せたい」と思いを乗せた上で計画し実行するようにしています。過去には、記念になるような物を製作体験したり、時には、ただのんびり宿で過ごしてみたり、形には残らないけれども、見たり感じたりする経験をしてきました。

そして今年も早速「スカイツリー」に出掛けてきます。利用者の皆さんに、日本一高いタワーに登ってもらいたい、写真の好きな利用者さんには景色を撮影してもらいたいなという思いで計画しました。

計画から実行までにはさほど時間も無く、計画で頭を悩ませ、当日は慣れない道や場所で神経を擦り減らし、戻ってくるとホッとする間もなく報告書の作成と、この一日の為に労力がかかります。しかし、外出先で写した写真に笑顔で映る利用者さんの姿を見たり「楽しかったよ」、「また、行きたいな」と声を掛けてもらった時には今までの労力が吹き飛び「よし、次はどこに行行って楽しませようか」という気が起きてきます。

利用者さんにとってたったの一日ではありますが、刺激のある楽しい一日に出来る様に、これからも私たちは日々自分のアンテナを張り巡らし楽しめる場所を見つけ、頭を悩ませ続け、そして利用者さんの笑顔を引き出せるようにしなければいけないと思いました。



<日帰り旅行> ながい寮

当日は天気も良く時間通りに出発。目的地はドラえもんミュージアムです。事前にどこに行くか車内で話しながら、笑顔が多くとても楽しみにしているように感じました。無事時間通り目的地へ着き早速昼食。すべてドラえもんの秘密道具の形をした料理ができてとても興奮していました。コーヒーにはドラえもんの絵が描いてあるラテアートを頼み、飲むのをためらっている利用者さんもいらっしゃいました。

園内散策ではドラえもんの絵をゆっくり見て回ったり、漫画を職員と一緒に読んだりドラえもんの他、色々なキャラに触れ合い、ミュージアム特別映画も観ることができました。

お土産は皆さん好きなものをそれぞれ購入し、とても満足し楽しそうな顔をしていたのが印象的です。

今回の旅行は移動距離も長く利用者の方々に負担を掛けさせてしまうかな、園内ではちゃんと楽しんでくれるかな？と不安な面もありましたが、終わってみるととても「楽しかった！また行きたい！」と言ってくれました。（原）



『4 年を振り返る』

（けやき寮 支援員 須藤 裕之）

私がむさしの郷へ入社して約4年半が経ちました。

現在、支援員として携わり思う事は【福祉】をどう思っているかです。意味を調べると、福祉とは…すべての人の「幸福」を意味します。人が幸福に感じる内容や幸福感の度合いは色々だと思いますが、人が人らしく生命を維持し、生活を豊かに発展させようと求めるものが、幸福の具体的な内容になると思います。幸福を求めるのは人の権利です。

英語では、Welfare あるいは Wellbeing です。well は「こころよい」「すこやかな」という意味であり、fare は「暮らす」「やっていく」being は「生きる」「人生」という意味になります。つまり「快適に生きる」という事です。「福祉」の仕事は、人が快適に生きられるよう支援をする事です。

日頃の声掛けの際に自分の都合を利用者の方へ押し付けていないだろうか、意欲的に作業へ取り組む姿勢を無にするような事をしていないか、と思うところがあります。

また、けやき寮は通所施設ですが、グループホームから通われている方もいます。私は、そのホームの担当を1年間行ってきました。まだ、自分自身で出来る事も少なく、周囲の方々の協力なくしてはここまで支援してはこれませんでした。

利用者の方が快適に安心して暮らせるよう支援を考えている時、自分はどこまでやり切れているのかと不安な日が多くありました。

誰にでも仕事の悩みや不安と向き合っていく事があると思います。私もそんな思いを抱え込んでしまった為、友人や家族、そして、上司に相談をしました。「後へ引くのか、乗り越えるのかは自分の覚悟にかかっている。自分に出来る事を探して乗り越え方を覚えるのだ」と励ましていただきました。

皆さんの話を聞いていく中で、支援員である前に人としての未熟さを感じました。悩む事も時には

あります、しかし利用者の方の生活を豊かにするのに必要な事が、私の支援一つ一つに繋がっているのだと改めて確認しました。この4年半を振り返る良い機会となりました。



<いちご狩り> けやき寮

毎年恒例のいちご狩りに行ってきました。

今回はいつもとは違い3月12日～3月15日の平日4日間の午後を利用し、4班に分かれて行う事となりました。

いつもですと行事での昼食は大人数の為、毎回食事場所がある程度決まっていますが、今回は少人数でグループ分けをした事もあり、事前の希望を踏まえ和・洋・中など皆さんの要望に沿える食事場所を提供することが出来ました。

今回もトラブルもなく無事終わり、利用者さん達の笑顔が見る事が出来たのも花園いちご園さん、いちごドリーム江南さん、飲食店の様々な方のご協力を頂いたお陰です。ご協力ありがとうございました。（牧野）

